

LIBRARY



運動会お疲れ様! 4年ぶりに、思いっきりできて良かったですね。

『汝、星のごとく』 風良ゆう著 講談社 2022



本屋大賞に続き、高校生直木賞も受賞! 我が子にもたれかかるダメ母を持つ高校生のヤングケアラーが主人公で、17歳から30代までを描く。小さな島に好きな男を追ってきた母を持つ權と、夫を都会から移住してきた刺繍デザイナーの女に奪われた母を持つ暁海が親密になるには時間はかからなかった。

しかし、漫画原作者として都会で勝負をかける權に、母を置いて島をでることができなかった暁海が遠距離恋愛の道を選んだことで、二人の未来に暗雲が…。

『古本食堂』 原田ひ香著 角川春樹事務所 2022



コロナ期間に、編集者から神保町を舞台に小説を書きませんか?と打診され、生まれたのがこの物語。主人公は大学生の美希喜。古書店を営む大叔父が急逝し、妹にあたる叔母の珊瑚が経営を引き継いだ。その手伝いをするようになった美希喜は、初めて古本の世界に足を踏み入れた。古書店を訪れる人たちの声を聞き、本を差し出す日々を描くが、物語のもう一つの魅力は神保町のグルメの数々…。老舗の欧風カレー、揚げたてのピロシキ…。神保町をまだ知らない中学生にもお薦め!

『てのひらに未来』 工藤純子著 くもん出版 2022



琴葉は中学2年生。町工場を営む父と母、小学生の弟の4人家族だが、2年前から父が恩人に頼まれて工場で雇った天馬という17歳の少年と一緒に住んでいる。ある日大口の注文を断ったことから、工場の経営が苦しくなりだす。頑固者の父は断った理由を話そうとはしない。琴葉は、天馬と少しずつ話をするようになり、それまで思ってもみなかった様々な社会の問題に気づき始めるのだった。

『13枚のピンぼけ写真』 キアラ・カルナーティ 岩波書店 2022



1918年、オーストリア=ハンガリー帝国がセルビアに宣戦布告したため、北イタリアの貧しい村から出稼ぎに来ていたイオランダの一家はイタリアに戻った。イオランダは小さな妹に再び会えたのが嬉しかった。しかし父と兄が出征し、なぜか母が捕らえられ、イオランダは妹と2人で、母方の祖母の知り合いであるアデーレ叔母さんを訪ねる旅に出る。村から町へ、浜辺へとそれは危険な旅だった。そしてやがてイオランダはそれまで知らなかった母の過去を知るのだった。

『ぼくたちはまだ出逢っていない』 八東澄子著 ポプラ社



表紙に金色の線が使われていて綺麗な本だなあとと思ったら、日本の「伝統技法」「金継ぎ」に彩られた出会いと修復の物語とありました。イギリス人の父と日本人の母を持つ中3の陸と、母親の再婚相手と暮らす京都に岡山から越してきた中2の美雨が主人公。義父になる人には中3の息子大也がいた。家に居心地の悪さを感じる美雨がある日見つけたのは、一軒の骨董屋さん。そこにあったのは金継ぎされた「月光」という名の茶碗だった。一方、陸は進路に思い悩んでいた…。

『目で見ることばで話をさせて』 A・C・レゾット著 岩波書店



この物語は、実在する“人物と島”をモデルにしたフィクションです。19世紀初頭、アメリカ本土との行き来が限られていたため、この島では25人に1人の割合で遺伝的に耳が聞こえない子が生まれたのです。この島の住民にとって聞こえないことは特殊ではありませんでした。ろう者と聴者はわけへだてなく会話を交わした。ともにごくあたりまえに手話を用いて。そんな島に暮らす感性豊かな11歳の少女メアリーの物語です。馬車の事故で亡くなった兄のことが頭から離れないメアリーの前に、ある日若い研究者がやってきます。彼はこの島にろう者が多い原因を科学的に究明しようとしていましたが、ろう者を障害者としてしか見ていなかったのです。この研究者の正体が実はほとんどない曲者!メアリーは研究材料として拉致され、本土に連れ去られ…。

『もがいて、もがいて古生物学者!!』 木村友莉著 ブックマン社



1990年の夏、東京ディズニーランド行きついでに寄った蕨蕨恐竜展。そこで運命の出会いが! 恐竜大好き少女として成長し、やがて進路を決める時に今度は上野で開催中の「大恐竜展」に足を運ぶ。自らの「古生物学」のあくなき情熱を確認、その道の大先輩である研究者のもとに今後の進路を相談。早稲田大学への進学を目指し、ひたすら勉学に励むが、その道のりは決してラクではなかった。読んでいて、著者の頑張りやバンバン伝わって来る。それだけ頑張れる「好き」という気持ちの強さに脱帽!

『かんぱった15人の徳川将軍』 房野史典著 日本実業出版社



冒頭、何人の徳川将軍の名前を言えますか?とあります。平均的には1人~6人だそう。この本は、有名じゃない将軍にもスポットをあて、その面白さをたっぷり語ってくれる本です。幼い将軍、体に悩みを抱えた将軍、能力があっても嫌われた将軍…辛かったでしょうね。(そんなことないか…?) 個性的なそれぞれの将軍像を語りつつ江戸時代の流れをしっかりと理解できるという、歴史の苦手な受験生には強い味方の本かもです。

『ポピュラーカルチャーからはじまるフィールドワーク』 圓田浩二他 明石書店



フィールドワークとは、その現場に入らないと得られないデータをとること。たとえば、ゴリラの研究者がゴリラの生息地域に入り研究するようなもの。それがポピュラーカルチャーだったら、どんなふうにしてデータをとったらいいかを指南してくれる本です。具体例として、「祭り」「海外の日本アニメファン」「スマホゲーム」「アイドルファン」等々。テーマ研究にも役立つような1冊です。

『クジラの歌を聴け』 田島木綿子著 山と溪谷社 2023



この本、動物たちの交尾の様子が頻繁に出てきます。筆者によれば、動物たちの性や繁殖が常に「生きること」とセットになっているからだ。たとえばヤギの交尾は一瞬で終わる。指導教官に「見逃すな」と言われたが、まさに手をパンと叩く間に終わっていたという。ヤギのような草食動物は、常に「食われる」ことを警戒しているのだ。「生命をつなぐ」というシンプルな目的のために生きる動物たち。頭で考えすぎる私たち人類の生きる目的は何でしょうね。

5月にはいった本の一部です。リクエストは常時受け付けています。

登録No.	NDC	書名1	著者名1	出版者	出版年
039081	019H	差し出し方の教室	幅允孝	弘文堂	2023/01
039125	123Y	チコちゃんと学ぶチコッと論語	山口謠司 監修	河出書房新社	2021/12
039051	227S	イスラエル	ソカッチ 著	NHK 出版	2023/02
039064	289K	小泉文夫	ひのまどか 著	ヤマハ	2022/04
039052	289M	われらの牧野富太郎!	いとうせいこう	毎日新聞出版	2023/03
039059	289T	津田梅子	高橋裕子 著	岩波書店	2022/09
039101	291J	東京水辺散歩	陣内秀信他 著	技術評論社	2022/11
039056	311Y	「くうき」が僕らを呑みこむ前に	山田健太	理論社	2023/01
039085	316Ta	きみの人生はきみのもの	谷口真由美他著	NHK 出版	2023/01
039075	336U	解像度を上げる	馬田隆明 著	英治出版	2022/11
039078	361K	ハッパの魅力を100文字で伝えてください	柿内尚文 著	かんき出版	2021/12
039055	369H	ひとりりでかんばらない!	藤田孝典 著	クレヨンハウス	2022/03
039107	369I	記憶する体	伊藤亜紗	春秋社	2019/09
039072	382I	ムラブリ	伊藤雄馬	集英社インター	2023/02
039103	484K	ずかん貝のからだ	清水洋美文	技術評論社	2022/12
039102	519S	大きな大きな大きな足あと	ロブ・シアーズ	創元社	2022/11
039058	583T	巨大おけを絶やすな!	竹内早希子	岩波書店	2023/01
039076	743N	カッコいいスナップ写真の撮り方 =	野寺治孝	玄光社	2021/06
039077	743U	こういう写真でどう撮るの?	森下えみこ 著	インプレス	2019/11
039079	901w	物語のカギ	渡辺祐真 著	笠間書院	2022/08
039115	913U	変な絵	雨穴	双葉社	2022/10
039116	913Sa	人間みたいに生きている	佐原ひかり 著	朝日新聞出版	2022/09
039053	913A	ボタニカ = Botanica	朝井まかて	祥伝社	2022/01
039041	913I1	カムイの大地	泉田もと 作	岩崎書店	2023/02
039044	913I1	ぼくんちのねこのはなし	いとうみく 作	くもん出版	2021/12
039067	913Ki	君色パレット	佳奈 絵	岩崎書店	2022/02
039080	913Ma	つる子さんからの奨学金	まはら三穂	偕成社	2023/03
038837	913Ma	仕事ください	眉村卓	竹書房	2022/09
039015	913Mu	街とその不確かな壁	村上春樹 著	新潮社	2023/04
039062	913U	スクラッチ = SCRATCH	歌代朔	あかね書房	2022/06
039109	915S	写真で読み解くおくのほろ道大辞典	佐藤勝明 監修	あかね書房	2022/01
038741	918S	中高生のための文章読本	澤田英輔 編	筑摩書房	2022/10
039113	933H	ブロード街の12日間	ホプキンソン 著	あすなろ書房	2014/11
039124	933N7	テメリア戦記	ノヴィク 著	静山社	2023/05
038908	979S	千葉からほとんど出ない引きこもりの	済東鉄腸 著	左右社	2023/02

新しいマンガが入りました!(生徒の皆さんのリクエストは、これからとりますね!)

昨年度末に先生から授業からみで要望のあった『青のオーケストラ』と『BLUE GIANT SUPREAM』、そして、一昨年転出された鈴木誠先生から寄贈された『アルキメデスの大戦』の不足分、さらには数学絵本作成にちなみ、『数学ゴール



デン』を入れました。(漫画は読み終わったら、必ず元の場所に戻してください!)
まもなく、生徒の皆さんにもアンケートを実施します。

こんなことやってます!



77回生社会 チャットGPT使う?



77回生は「新聞投書」が始まりました。その最初に、生成型AIと呼ばれるチャットGPTを使うことの是非を考える授業が行われました。当初は早くも2名が掲載されましたね!

テーマ研究 算数で絵本



第1回テーマ研は、ニジノ絵本屋から2名の特別ゲストをお迎えして図書館で行われました。秋にはどんな算数絵本が出来上がるか楽しみです。

75回生 国語 『論語』を読む



この授業のために、各附属学校や公共図書館からもたくさん論語の本をかりたので、全員で「中学生にとって使える論語の本」を選んでみました。



心の身長を伸ばそう